

特定非営利活動法人 不忘アザレア

## 2017-2018 シーズン 安全報告書

### ご挨拶

2018 シーズンも、みやぎ蔵王白石スキー場をご利用いただき誠にありがとうございました。年末には全コース滑走可能となり久しぶりに雪に恵まれたシーズンになりました。しかしながら異常気象の影響は強風や3月の異常高温などスキー場の営業にも影響のある年が続いております。また今シーズンはスキーヤーの安全、職員の安全また索道の安全と、色々と考えさせられるシーズンであったと思います。しかしながら理事及び職員をはじめ関係各位の協力のもと、課題の解決に取り組みたいと思います。

現在白石市では狭いコースの拡幅工事や第3リフトのリニューアル工事を行っております。

さて、来る2019シーズンは白石スキー場開設50年の節目の年になります。みやぎ蔵王白石スキー場で働くすべての職員及び理事は同じ安全意識を持ち、スキーヤーの皆様に楽しんでいただけるスキー場作りをいたします。

2019シーズンも多くの皆様にみやぎ蔵王白石スキー場で楽しんで頂ければ幸いです。

特定非営利活動法人 不忘アザレア

理事長 木村 孝



### 安全方針について

もとより白石スキー場でも安全に関する規定はありましたが、平成18年10月1日の鉄道事業法の改正を受け、安全に対する意識をより高める意味から「安全管理規定」を作成し運用しています。

#### 「輸送の安全を確保するための基本理念」

1. 一致協力して積極的に安全運行に取り組みます。
2. 「運転取扱細則」・「係員服務規程」等、法令及び規定をよく理解するよう努め、誠実に職務を遂行します。
3. 職務の遂行にあたり、確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをします。
4. 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに「緊急体制要領」に基づき、適切な処置をとります。
5. 常に問題意識を持ち、情報は漏れなく迅速・正確に伝え、透明性を確保します。

上記の基本理念を実行するため、安全輸送の管理体制や索道施設の保守及び運行の管理の方法を作成

し安全管理規定に記しております。これらはすべて利用者の安全を確保するものであると同時に、私達働く側も安全な作業を行うための大切な規定なのです。

## 安全に対する取り組み

シーズン前に、理事会及び白石スキー場従事員研修において「不忘アザレア安全管理規定」を説明し、輸送の安全の確保に必要な事業の実施と管理を行っております。

\*スキー場オープン前の12月18日に全職員（職員・期間雇用者）及びアルバイトに安全研修会及び救助訓練を実施、不忘アザレア安全管理規定他を説明しました。

\*始業前に毎朝ミーティングを行い、気象状況からリフトの状態・人員配置の確認及び安全に関する情報の交換等を行い、各担当リフトの始業点検を行いました。

\*シーズン中、理事長及び理事による巡回点検を行い、各リフトの安全確認及び状況を点検しました。

シーズン前の安全教育だけに留まらず、シーズン中もスキースクールスタッフと合同で救助訓練を実施します。

(始業点検研修の様子)



(始業点検研修の様子)



(従事員救助訓練の様子)



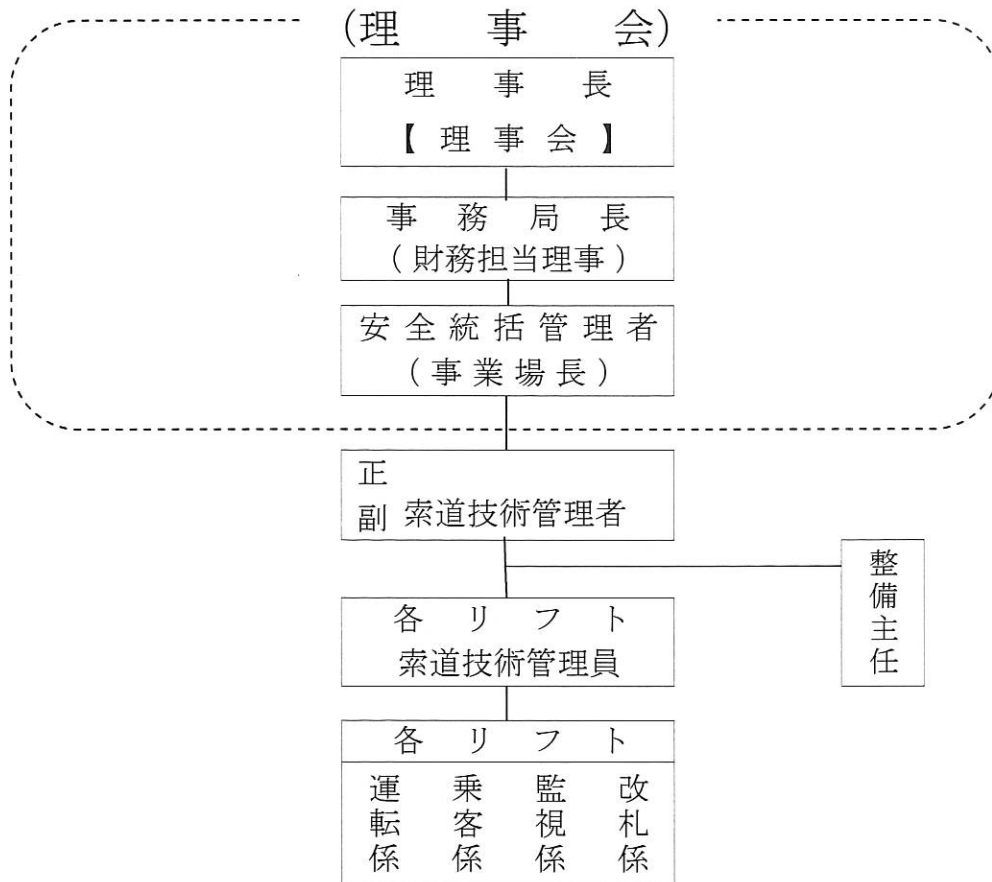
(救助訓練の様子) ダイナミックスキースクール



## 安全に関する組織体制

白石スキー場では、理事長から各リフト係員まで積極的に安全運行に取り組むため安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。

白石スキー場の特殊索道に関する組織体制図



理 事 長 【 理 事 会 】	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
事 務 局 長 【 財 務 担 当 理 事 】	輸送の安全の確保に必要な設備投資・人事・財務に関する業務を統括する。
安 全 統 括 管 理 者 【 事 業 場 長 】	索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
索 道 技 術 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守の管理その他の技術上の事項に関する業務を統括する。
索 道 技 術 管 理 員	索道技術管理者の職務を補佐する。